

4-12

お化粧クラブの発足

私だって、キレイでいたい！！

特別養護老人ホーム みやま大樹の苑

発表者：介護士 竹内 聖美	共同研究者：介護士 江川 雅代
所在地：東京都八王子市美山町1463番地	
TEL：042-651-0161	E-mail：taiju@azeriya.or.jp
FAX：042-651-0136	URL： http://www.azeriya.or.jp/taiju/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	昭和63年4月に開設された、113床、2フロアの特別養護老人ホームです。八王子の北西に位置し、素晴らしい自然環境に恵まれています。同じ敷地内に養護老人ホーム、救護施設、デイホームが併設されています。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉

○余暇の充実としてクラブ活動を行っているが、クラブ活動は比較的健康な身体を動かせる方が中心となっており、重度の方でも気軽に参加できるクラブの必要性が求められていた。

○身だしなみを整えキレイになることは、女性として共通の願いであるが、この面での満足度は必ずしも高くない。施設での日常生活の中で少しでもこの機会を増やし、キレイになることの喜びや楽しみを提供したい。

〈具体的な取り組み〉

- 活動は、月1回、1時間半ぐらい。職員2名で対応。予算は年4万円程度。
- 個人では管理困難な化粧品をクラブで用意。
- 自分で化粧できる方の見守りと、できない方への援助。
- 重度者に対しては、ベッド上にて、質の良い化粧水、クリームなどをつけ、肌のスキンケアをする。また、希望者には、マニキュアをつける。

〈活動の成果と評価〉

- 参加人数 1回 20人程度。
- キレイになることは、すべての女性の願い。キレイになることへのご自分の満足感を味わうことができた。
- 利用者間、職員とのコミュニケーションの場となり、他人から自分のキレイさへの評価を得ることの喜びを味わうことができた。
- 生活のメリハリのひとつとなった。
- 化粧をすることにより昔のことを思い出し、会話が盛り上がった。

〈今後の課題〉

- 月に1回しか行えていない。
→機会の増加と援助者（ボランティア）の確保。
- 日常への取り組み（スキンケア）

【メモ欄】